

電柱の低圧電圧電流の遠隔測定装置

リアルタイムに電流を把握し、設備形成に役立てます



背景・目的

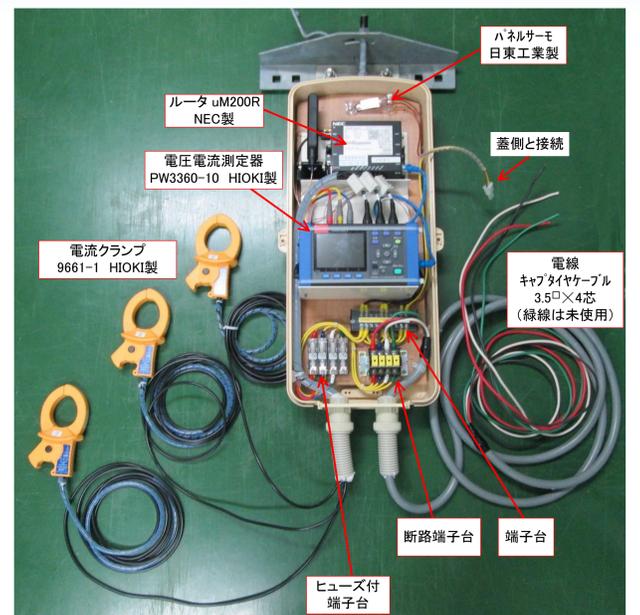
- 柱上変圧器には電流計測機能がないため、過去の研究データを基に、お客さまの契約容量や電力使用量などから変圧器電流を推定し、変圧器容量を決定しています。
- より効率的な設備形成を目指して、本装置を用い、変圧器電流の詳細な実態把握と分析を行っています。

特長

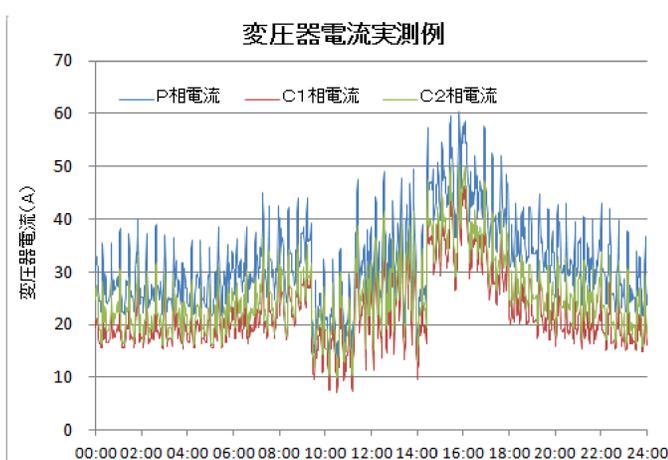
- 3相の電圧・電流と位相を個別に測定可能
- 測定周期は1秒より可能（平均値，瞬時最大・最小値）
- 屋外（電柱上）へ長期設置が可能で安価（コストは従来の屋外設置型測定器の75%程度）
- 測定データの遠隔収集（サーバ内への自動蓄積）が可能
- 測定器の遠隔操作（設定変更等）が可能
- 電圧・電流波形を画像データで取得可能

用途

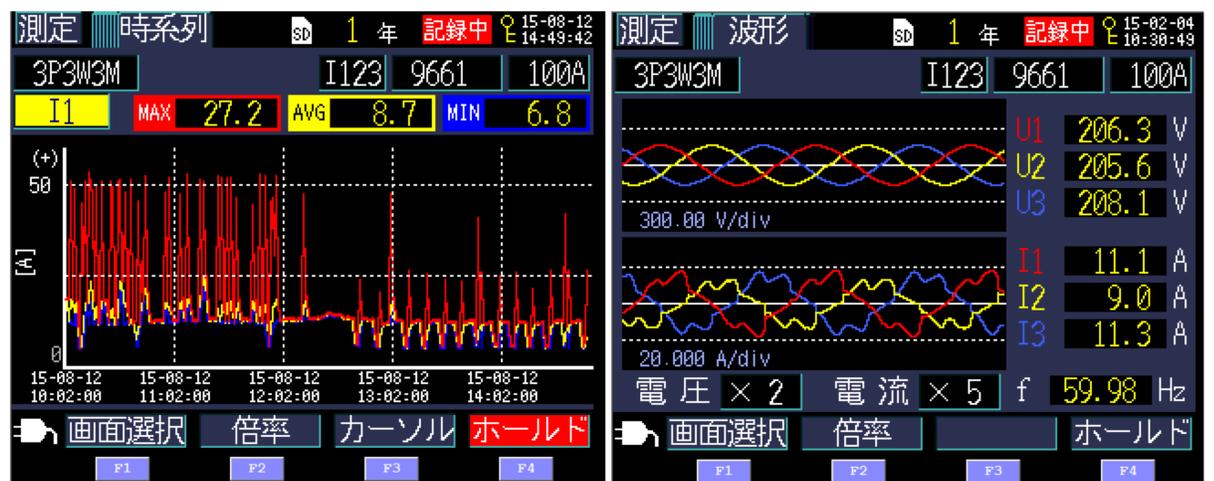
- 屋外の長期低圧電圧電流測定（系統電圧、柱上変圧器電流などの実態把握）
- 太陽光発電による逆潮流や、電灯・動力混在負荷電流の測定（各相の電圧・電流位相データを用いた分析が可能）
- 測定対象の概算電流値が分からない場合の測定（測定データを見た後に設定変更可能）



変圧器電流データ例



電圧・電流波形例



開発者のひとこと

市販品や既存サービスを上手く活用することで、効率的な実態把握が可能となりました。工場の省エネ診断や様々な分析・解析など、電気のコサルティングへの応用が可能です。